



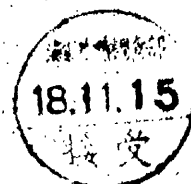
十根機密第三二號、一一

自昭和十八年八月一日
至昭和十八年八月三十一日

十島方面根據地隊戰時日誌

十島方面根據地隊司令部

6/10



1689

一、経過
二、人員、現狀
三、令達報告等
四、参考
五、作戰經過概要

目

次

(目次終)

1690

自昭和十八年八月一日
至昭和十八年八月三十日

十島方面根據地隊戰時日誌

一 経過

1) 敵情

(一) 敵ハ我が鳴神島撤収後モ引續キ数次ニ亘リ砲爆撃ノ後十六日
同島ニ上陸セルモノ如シ

(二) 敵ハ熱田島ノ防備強化ニ努ムト共ニ同島水陸両航空基地ヲ
前進基地トスル北十島方面ノ偵察攻撃ヲ企圖シ之ガ實現並ニ戰
備ノ增強ニ狂奔シタルガ如シ

(三) 敵潜水艦ハ津輕、宗谷海峡方面ニ跳梁シ北十島方面既往ニ
比シ活潑ナラス

10) 蘇聯ノ情况

(一) 蘇聯ノ動向ハ微妙ニシテ嚴重監視ノ要アリ

(ハ) 我が軍、情況

(一) 在「カウヤツカ」日本漁船、動向ニ関シ依然過敏ナル警戒ヲナシツアルモノ、如シ即チ暴襲ニ抑留セル第六日鮮丸ヲ未ダ釋放セズ且第三伊豫丸ヲ拿捕第六金城丸外三隻ヲ抑留セル疑依然濃厚ナリ

(二) 一日北方部隊作戰ニ協力中ノ國後當隊ニ復歸

(三) 五日附

(一) 第五艦隊第十二航空艦隊ヲ以テ北東方面艦隊ヲ編制之ヲ聯合艦隊ニ編入セシメラル

(二) 十島方面特別根據地隊ヲ十島方面根據地隊ニ改編作戰ニ関シ北東方面艦隊長官ノ指揮下ニ入ラシメラル

(三) 第五十一警備隊ヲ編制十島方面根據地隊ニ編入本隊ヲ片岡ニ分遣隊ヲ武藏摺鉢松輪天寧ニ開設セシメラル

(四) 北東方面部隊兵力部署中十島方面根據地隊(一部々)ヲ北方部

隊ニ第五十一警備隊武藏及榴鉢分遣隊ヲ第二基地航空部
隊ニ編入セシメラル

(5) 千島方面ノ防衛ハ北東方面艦隊長官之ヲ擔任ノコトニ定メラル

(6) 第十七號掃海特務艇ニ對スル作戰指揮ヲ解カル

(三) 第一驅逐隊及第九防空隊ヲ當隊ニ編入第二號新興丸ヲ當
隊ヨリ除カル

(四) 二十日第三十五號驅潜艇ヲ當隊ヨリ除カル

(二) 作戰指導

(一) 一日〇。〇。梅丸敵潜水艦ヲ北緯五十度五十七分東經百五十六度十六分

ニ發見西側隊ヲシテ掃蕩攻撃セシム

(二) 七日八丈特別任務中國後ヲ一時西側隊ニ加フ

(三) 十日一八五七今井埼防備衛所敵潛没潜水艦ヲ今井埼ノ三十二度二十

分ニ探知西側隊ヲシテ之ヲ掃蕩攻撃セシム

(四) 十日附十島防備部隊兵力部署ヲ改編ス

(五) 十日の七〇九敵B17型B17型計三機以上幌延海峡方面ニ未龍表片

岡柏原村上方面ニ多量投弾の七二〇友軍戦闘機在泊艦船及地上
砲火ニ依リ之ヲ撃退セリ

(六) 十五日十防電令作第二號發令(海上護衛ニ関スル件)

(七) 十六日第三十五號驅潜艇ヲ一時東側隊ヨリ除ク

(八) 同日敵空襲ノ算大ナリトノ陸軍側情報ニ依リ一五五ヨリ一三三迄北
十島海面ニ空襲警報ヲ發令セリ

(九) 二十二日堪察加日魯漁業引揚輸送護衛開始

(十) 二十三日日魯船堪察加沿岸引揚終了迄北十島方面對潜警戒
配備ヲ變更ス

(五)

十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
石 堤 哨 巨 對潜掃蕩														船名
國 堤 哨 巨 片岡武藏間要務送 片岡天章一松輪間														船名
八 全 對潜掃蕩 藤影丸 片岡武藏間要務送 栗田丸 護衛														船名
大 全 對潜掃蕩 浅香丸 對潜警戒														第三十五號艇
潜 全 對潜掃蕩 高島丸 護衛														第三十六號艇
特務 全 對潜掃蕩														第三十七號艇

1695

4島根 18-8

三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五
衛護船揚切=紐或哨岸西加桑堤 * 戒 哨																
上 全 * 戒 哨																
上 全 *																
											警明 石山丸 戒	護高 島丸 衛	護長 田丸 衛			
											カ 當歌ヨリ除カル		護日 帝丸 衛	上		
上																
											護高 島丸 衛					

至務輸送

1696

85

十	十	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	船	
四	三	二	一											第 五 京 仁 丸	第 三 京 仁 丸	第 二 十 八 特 設 掃 海 隊
明 輪 松 * 戒 哨 巨 哨 延 幌 * 戒 哨 巨 哨 輪 松														第 七 福 榮 丸	第 五 代 丸	
延 幌 * 戒 哨 巨 哨 輪 松 * 戒 哨 巨 哨 延 幌														萬 榮 丸	第 五 代 丸	永 隆 丸
島 堤 擇														梅 丸	竹 丸	菊 丸
哨 延 幌														民 星 丸		
全																

1697

千島根 18-8

三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五
戒 咄 区 咄 輪 松			* 戒 咄 区 咄 延 幌			* 戒 咄 区										
戒 咄 区 咄 延 幌			* 戒 咄 区 咄 輪 松			* 戒 咄 区										
戒			咄			区			咄							
代五第丸隆永 徒作救丸弟入海 事業難品川代免																
戒			咄			区			咄							
						丸 梅 輪 間 片 岡 松 要 務 輪										
									上							

86.

														船名		
十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	名	
海航					十										神	第一驅逐隊
掃對															島	
掃掃					防備部隊二編										沿	
掃掃															風	
大					入										波	
中知床附近															風	
小樽*航海					入										野	
長田丸護															風	

千島根 18-8

三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五
海 航 * 田 片 * 樽 小 *																
護衛		昭幸丸(小樽)		長田丸(釧路)		第十八日正泊		護衛		昭幸丸						
中 理 修 湊																
田 片 * 海 航 * 泊 大 * 海 航 * 田 片 * 海 航 * 樽 小 *																
護衛		天安丸		公安丸		護衛		高島丸		護衛		高島丸		護衛		生島丸
撫得 * 海 航 * 樽 小 * 海 航 * 泊 大 *																
護衛		三興丸		護衛		高島丸		護衛								衛

1700

人員、現状

(1) 八月一日現在

(一) 司令部職員官職氏名

職	主務	官	氏名	記	事
司令官		少將	新葉亭造		
参謀	首席参謀	中佐	牧野坦	兼副	長
兼参謀	通信参謀	少佐	岩澤一郎	幌延通信隊司令	
参謀	機関参謀	大尉	萩原行友	(副官)	
附		大佐	松村積徳		
兼附		大佐	長嶺公固	第五艦隊機関長	
副長(兼)		中佐	牧野坦		
軍醫長兼 分隊長		少佐	菊地楨太郎		

(二) 隊職員官氏名

附	附	附	附	附	附	兼附 分隊長	主計 隊長	兼附 分隊長	兼附 分隊長	兼附 分隊長	兼附 分隊長	兼附 分隊長
	天竺砲台派遣勤務			幌筵砲台派遣勤務		幌筵砲台指揮官			永隆丸艇長	民星丸艇長		
中尉	中尉	中尉	大尉	大尉	大尉	大尉	主計 大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉
向井達也	増井英雄	七里義雄	山崎倉藏	吉川裕爾	長谷博	佐藤清重	神谷庄一	相澤正	金井塚三郎	堤幸男	保志與惣	多田實
								第五警備隊分隊長				附 第五根據地隊司令部

[illegible]

附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
		天寧砲台附	惣延航空基地 指揮官	松輪砲台附				天寧砲台附		高榮丸艇長職 務執行者		天寧砲台 指揮官
番長	番長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長
布施豊次	藤本八郎	山本 嗜	北林春治	村田博雄	遠藤喜作	長谷川是雄	及川 乱	松・館榮太郎	朝生 榮治	住野貫治	大屋辰作	豊島耕二

1704

89

附	附	附	附	附	附	附	附
			民 星 丸 葉 組	永 隆 丸 葉 組	航 空 基 地 附 寧	指 松 輪 航 空 基 地 官	幌 延 砲 台 附
工 務 長	工 務 長	機 務 長	機 務 長	機 務 長	機 務 長	機 務 長	機 務 長
佐 々 木 憲 太 郎	金 澤 保 光	井 下 吉 春	鈴 木 正 吉	酒 井 忠 次	柴 田 友 治	小 野 正 信	佐 藤 守 治

1705

(三)

下士官兵及其他員数

記 事	員 数	兵 種
傭人中 奏待囑託 四判待囑託 六、雇一、ヲ含ム	八三一	兵科
	〇	飛行科
	一八三	整備科
	一七七	機関科
	〇	軍樂科
	二〇	看護科
	四三	主計科
	二九	傭人
	一二七	合
	三	計

(四) 麾下總員数

記 事	員 数	種 別
	五五	士官
	七五	特准
	四七	下士官
	三	
	一三二	兵
	六	
	一三	其他
	一九四	計
	一	

(四) 八月五日現在

司令部職員官職氏名

職	主務	官氏名	記	事
司令官		少將 新葉 亭造		
参謀 首席参謀	中佐 安並 正俊			
参謀 水雷参謀	中佐 牧野 坦			
参謀 砲術参謀	大尉 多田 實			
参謀 機関参謀	大尉 山本 壯吉	(副官)		
機関長	大佐 松村 積徳			
兼附	大佐 足立 脩藏	八月五日發令 小樽在勤武官		
兼附	大佐 土田 数雄	八月五日發令 釧路在勤武官		
軍醫長	少佐 西嶋 東			
附	大尉 堤 幸男			
附	民屋 凡 艇長			

附	附	附	附	府大湊警備 附	附	附	附	附	附	主計長	附	附
				濃邊 遣 勤 務								永隆丸艇長
少軍 尉醫	少尉	中主 尉計	中主 尉計	中軍 尉醫	中軍 尉醫	中軍 尉醫	中軍 尉醫	大軍 尉醫	大尉	大主 尉計	大尉	大尉
馬島良明	伊東孝二	高橋利	梅田晃萬	松田健	向井達也	増井英雄	七里義雄	吉川裕爾	長谷博	神谷庄一	名和孟	金井塚三郎
				十根司令官承命服務 八月三日附右承命服務ヲトカル								

1708

附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
		民 星丸束組	永 隆丸束組			萬 榮丸艇長 務執行者		民 星丸束組	第 五 代 丸艇長 務執行者	永 隆丸束組
工 兵曹長	機 兵曹長	機 兵曹長	機 兵曹長	兵 曹長	兵 曹長	兵 曹長	兵 曹長	兵 曹長	兵 曹長	兵 曹長
金 澤 保 光	井 下 吉 春	鈴 木 正 吉	酒 井 忠 次	及 川 乱	朝 生 榮 治	住 野 貢 治	大 屋 辰 作	秋 山 辰 美	山 根 清	新 井 吉 郎

1709

(三) 下士官兵及其、他員數

兵種	兵科	飛行科	整備科	機関科	軍樂科	看護科	主計科	傭人	合	計
員數	一九〇	〇	一六	四九	〇	四	二〇	二九	三〇	八
記事	傭人中、奏待囑託四判、待囑託六雇一ヲ含ム									

(三) 麾下總員數

種別	土官	特准下士官	兵	其、他	計
員數	八三	一八	四五六	五八	一三
記事					

92

三令達報告等

日 時	受(宛通報)日時	令 達 報 告	種 別
一日〇三二〇 千防指揮官	一日〇四一一 八丈艦長 驅潜三十六 大警 長官 所 長官 12所 長官	千防信電今作第八二號 西側隊八梅丸、弁見ヒル敵潜ヲ掃蕩攻 撃セヨ。一〇〇、位置北緯五十度五十七分東 經百五十六度十六分	無 電
一日〇三二〇 千根司令官	一日〇三五二 大警管区總船 大警 部部 北方 隊隊 12所 長官	對 潜 警 報 北緯五十度五十七分東經百五十六度十六分 〇一〇〇	無 電
三日一五一六 大海參一部	一日〇九一五 各鎮各警各	昭和十八年度帝國海隊戰時編制中、左、通改 定セラルルコトニ手續中	無 電

1711

百 一 一 五 八 一 日 一 三 五 七	艦隊長官 (十根司令官) 八月五日附 第五艦隊及第十二航空艦隊ヲ以テ北東方面 艦隊ヲ編制聯合艦隊ニ編入 北東方面艦隊司令長官ハ第十二航空艦隊 司令長官ヲ兼務 三島方面特別根據地隊ヲ三島方面根據地 隊改ム(作戰ニ関シ北東方面艦隊司令長官ノ 指揮下ニ入ル) 第五十一根據地隊第五警備隊第五十一通 信隊及第五十一衛所隊ヲ解隊 第五十一警備隊ヲ編成三島方面根據地隊ニ 編入 對潛警報北緯五十度十五分東經百五十八度	無
---	--	---

十根司令官	第一一二五	第五艦隊參謀長
大警備官 大警備部 北方部隊 長官	第一一三〇八 所屬各長官 航空基地	第一一三五〇 大海參一部長 軍司令部 軍務局長 兵備局長 大警備官 十根司令官 施設本部 長官
十五分一二五	敵潜水艦一隻見、救助あり 北緯五十度十五分東經百五十八度十五分	第五十一 根據地隊八月一日より轉進 完了、左、要領は依り千島方面特別根據地 隊に協力、北千島方面防備強化並に設営に 任ぜしめられ、部隊別（概略員数）協力要領、無 順 第五十一特別根據地隊司令部（四五）轉進 要務、整理
電	無	無

四日一九〇五	五日一九三九	明日
師長官	北方部隊 師長官 大警長官 大警長官 大警長官	明五日附帝國海軍戰時編制中左ノ通改定セル
二日〇六〇〇	二日〇七二七	八月一日ヲ以テ「甲」號作戰完了ス
師長官	大警長官 (十根司令官)	八月一日國後ヲ十特根部隊ニ復歸セリ
二日〇五二〇	二日〇六一〇	五第三十設營隊(三一〇)片岡基地設營
		四第三十二防空隊(二九〇)防空陣地築造警備
		三第五警備隊(一九五)内設營隊(四六〇)別飛
		二第五十一通信隊(一一〇)艦隊並ニ十根通信
		隊ニ協力特設通信隊設置準備
		沼及片岡灣基地防空陣地築造警備
		電
		無
		無
		電

70

大海参一郭長	各鎮各警各 艦隊長官 (十根司令官)
豫定 一 大海機密第三一五一大番電外 一 第三防空隊及第三十設營隊ヲ解隊(第五艦隊) 一 第二十六及第二十七防空隊ヲ解隊(大湊警備府)以上解隊セル防空隊ハ第五十一警備隊ニ設營隊(軍人以外)ハ大湊海軍建築部ニ増勢 一 五十一警備隊(司令以下二百四十名)ハ本電並ニ前電依ル解隊兵力ヲ以テ編制本隊ヲ武藏灣ニ派遣隊ヲ占守摺鉢、松輪、天寧ニ置クモトス (内容詳細別電)	電

	九日一〇四五 十根司令官 大警 長官 （大海參一部長）	九日一三三四 大海機密第〇四一九〇五番電関聯 第五十警備隊本隊ハ左ノ理由ニ依リ片岡灣ニ 設置、西アフリト認ム 一幌筵海峡ハ當方面作戰中樞地ニシテ且艦 隊唯一ノ泊地ナリ 二當隊、本質ニ鑑ミ司令部ト警備隊本隊ハ 密接不離、關係アリ兩者同一場所ナル事絶 對必要ナリ 三當方面防備、重実ガ幌筵海峡方面ニアルハ陸 海軍共ニ異論ナク處ニシテ陸海軍防備ノ本 隊、共ニ海峡方面ニ置キ兩者、緊密ナル連 絡確保ヲ緊西アトス
--	--	--

95

五日一〇五二 大海参一部長	六日〇一一二 十根司令官 所部 長官 大警 長官	一、特設通信隊ハ差當リ設置セラレズ通信隊 準ル通信関係員ヲ十島方面根據地隊 臨増セラルル豫定 二、第五十一警備隊ハ大海機密第〇四九〇五番 電ニ基キ左ニ依リ編成スル（以下略）
五日一五五四 軍令部總長	六日〇〇三八 各鎮、各警各 艦隊長官 （十根司令官）	昭和十八年度帝國海軍戰時編制中八月五日 附大海機密第三一五五六番電及同機密第 〇四九〇五番電通改定セラル
五日二一二〇 大警參謀長	六日〇二五〇 各師長 官 十根司令官 （所部 長官）	十根北東方面艦隊司令長官ノ作戰指揮下ニ 入ラシムル場合現十防部隊ニ編入シカニ十八掃 艇三十五、駆潜三十六ハ引續キ十根司令官ノ 作戰指揮下ニ入リテ十根北東方面艦隊ニ 編入セラルル内意ナリ

五 十根司令官	五日一六五六 軍令部總長
十防部隊	六日〇五五八 策方面艦隊長官 大敵官 長官 各鎮各警各 艦隊長官 十根司令官
機密于島方面根據地隊命令作第一號 (別紙第一)	大海指第二六三號 昭和十八年八月五日 軍令部總長 戸塚北東方面艦隊司令長官ニ指示 井上大湊警備府司令長官ニ指示 一、于島方面、防衛ハ北東方面艦隊司令長官ニ 擔任スベシ 二、于島方面根據地隊ヲ作戰ニ関シ北東方面艦 隊司令長官、指揮下ニ入ル 三、大湊警備府司令長官ハ擔任区域方面、作戰ニ 関シテハ北東方面司令長官ト特ニ緊密ナル連 繫ヲ保持スベシ

六日〇七三七 北東方面部隊 司令官	
六日一一四一 十根司令官 北東方面部隊 司令官 師長 軍令部總長 (各鎮各警長官)	
北東方面部隊電令作第一號(八月五日附) 北東方面部隊兵力部署左ノ通定ハ (一)部隊名(四)指揮官(ハ)兵力(ニ)主要任務(順) (一)第二基地航空部隊 (二)第一航空艦隊長官 (三)第三航空艦隊(四五三空、幌延通信隊缺) 第三十戰隊(淺香丸、栗田丸缺)秋津洲第五 十一警備隊武藏灣派遣隊同摺鉢派遣隊 (二)敵機動部隊攻略部隊、捕捉擊滅 (一)A方面敵航空機艦艇輸送船、擊滅 (三)洋上哨戒 (四)對潛對空哨戒 (五)局地海面防衛協力	

- (六) 航空基地設營協力
- (七) 對戰力練成
- (八) 北方部隊
- (九) 第五艦隊長官
- (一〇) 第五艦隊(第三上戰隊(淺香九栗田九缺))
- (一一) 第五氣象隊同附屬艦艇(缺)
- (一二) 第五方面根據地隊(部缺)四五二空
- (一三) 前號三同ジ
- (一四) A O 方面偵察
- (一五) 局地海面防衛
- (一六) 對潛警戒掃蕩海上護衛
- (一七) 要地設營協力
- (一八) 輸送補給工作
- (一九) 附屬部隊

電

1720

第一航空基地 七〇一一一〇	大警 長官 六日一八二〇	
東方面艦隊 千根司令官 七〇一一五五	千根司令官 第七掃海特務艇 (宗防指揮官) 六日二三五〇	
見爆撃(六番三)セルモ効果不明、	第七掃海特務艇八回航、途次千根司令官指示、船舶護衛ニ任ズベシ 發二一空襲部隊指揮官 七五三空陸攻。九三。俱樂部部、百八十度三十三度、敵潜没潜水艦(針路九十度)一隻發見	一、第五氣象隊及附属艦船 二、幌筵通信隊 (備考) 第五氣象隊附属艦船ハ配備中哨戒任務兼ヌ 右関シハ北方部隊指揮官、指揮ヲ承リ 電令作第八八號
電	無	電

七 百 一 二 四 八	十 根 司 令 官	七 百 一 二 四 八	大 警 官 總 艦 船 大 警 部 隊	對 潛 警 報	北 緯 四 十 九 度 三 十 分 東 經 百 五 十 五 度 五 分 七 厘	電
七 百 一 六 四 〇	十 根 司 令 官	七 百 一 九 四 三	十 根 部 隊 大 警 長 官 艦 隊 長 官 所 長 官	十 根 電 令 作 第 一 號 八 月 五 日 附 片 通 達 令 セ ラ レ タ リ	一 十 島 方 面 特 別 根 據 地 隊 ヲ 十 島 方 面 根 據 地 隊 ニ 改 メ 作 戰 ニ 関 シ 北 東 方 面 艦 隊 司 令 長 官 指 揮 下 ニ ラ シ メ ラ ル	無
七 百 一 六 四 二	十 根 司 令 官	七 百 一 九 四 三	十 根 司 令 官	十 根 電 令 作 第 二 號	三 民 星 丸 永 隆 丸 第 五 十 代 丸 萬 榮 丸 ヲ 當 隊 所 屬 ト 定 メ ラ ル	電
七 百 一 六 四 二	十 根 司 令 官	七 百 一 九 四 三	十 根 司 令 官	十 根 電 令 作 第 二 號	四 第 十 七 號 掃 海 特 務 艇 ニ 對 ス ル 作 戰 指 揮 ヲ 解 カ ル	無
七 百 一 六 四 二	十 根 司 令 官	七 百 一 九 四 三	十 根 司 令 官	十 根 電 令 作 第 二 號	八 丈 特 別 任 務 中 國 後 ヲ 一 時 西 側 隊 ニ 加 フ	無

78

吾 北東方面部 隊指揮官	石垣 九日二二。六	松丸 九日一八二。	
九日 北東方面部隊	九日二二三五 千根司令官 H.T.F. 長官 大警參謀長 八文	九日二二三。 千根司令官	入大艦長 駆逐三六艦長 千根部隊 北方面部隊 師長官
機密北東方面部隊命令作第ニ號 北東方面部隊作戰要領(略)	引續キ監視中 鏡ラシキモノ(D.I.)報ヲ索敵セルモノ掛リナシ 北緯五十度ナル分東経百五十六度ナニ分ノ潜望 米隔テ双方南々西々進航中ヲ認メタリト云フ	松丸機密第一番電 漁船金城丸ノ報告ニ依レバ五十度ナニ分百 五十六度ナニ分ノ地矣ニテ潜望鏡ニ本間隔五百 米隔テ双方南々西々進航中ヲ認メタリト云フ	
書文	電	電	電

1723

十日一八五七 今井靖防 所備		十日〇六三五 十根司令官	十日〇六三〇 十防指揮官	五日 北東方面部隊 指揮官
十日一九四〇 十根司令官	十日一九四〇 十根司令官	十日〇八二七 入文艦長 宗財指揮官 一 駝司 大警參謀長 師參謀長 駝司 小樽武官	十日〇九一六 十防部隊 北才部隊 師長官	九日 北東方面部隊
敵潛没潜水艦アリ我ヨリ方位三十二度 距離二〇〇〇	阿頼度島西方海面通過迄之ヲ護衛セヨ	一 高島丸(北部軍司令官乗船)十日一五三〇柏原 出十三日〇七三〇小樽着豫定中知床沖十二日 一三三〇速力十五節航路五一〇五 二 西側隊指揮官ハ適宜兵力ヲ派遣同船	十防電令作第三號 十日國後ヲ東側隊ニ加フ	機密北東方面部隊命令作第三號 (略)
電 無	電	無	電 無	書 文

十日二二〇〇	十日二二五九	十日一九四一	十日一九五五	十日一八五七
石垣	石垣	石垣	石垣	石垣
十根司令官	十根司令官	十根司令官	十根司令官	十根司令官
大警各部隊	大警各部隊	大警各部隊	大警各部隊	大警各部隊
對潜警報	對潜警報	對潜警報	對潜警報	對潜警報
潜没潜水艦アリ北緯五十度五十九分東經百五十六度二十五分一八五七	潜没潜水艦アリ北緯五十度五十九分東經百五十六度二十五分一八五七	潜没潜水艦アリ北緯五十度五十九分東經百五十六度二十五分一八五七	潜没潜水艦アリ北緯五十度五十九分東經百五十六度二十五分一八五七	潜没潜水艦アリ北緯五十度五十九分東經百五十六度二十五分一八五七
度二十分西側隊ハ速ニ之ノ敵ヲ掃蕩攻撃セヨ	度二十分西側隊ハ速ニ之ノ敵ヲ掃蕩攻撃セヨ	度二十分西側隊ハ速ニ之ノ敵ヲ掃蕩攻撃セヨ	度二十分西側隊ハ速ニ之ノ敵ヲ掃蕩攻撃セヨ	度二十分西側隊ハ速ニ之ノ敵ヲ掃蕩攻撃セヨ
發東側隊指揮官	發東側隊指揮官	發東側隊指揮官	發東側隊指揮官	發東側隊指揮官
東側隊、主搭任區域ヲ左ノ通改メ	東側隊、主搭任區域ヲ左ノ通改メ	東側隊、主搭任區域ヲ左ノ通改メ	東側隊、主搭任區域ヲ左ノ通改メ	東側隊、主搭任區域ヲ左ノ通改メ
石垣、摺鉢、白千度線以北	石垣、摺鉢、白千度線以北	石垣、摺鉢、白千度線以北	石垣、摺鉢、白千度線以北	石垣、摺鉢、白千度線以北
國後右以南	國後右以南	國後右以南	國後右以南	國後右以南
第三十五駆潜艇武藏灣	第三十五駆潜艇武藏灣	第三十五駆潜艇武藏灣	第三十五駆潜艇武藏灣	第三十五駆潜艇武藏灣
發西側隊指揮官	發西側隊指揮官	發西側隊指揮官	發西側隊指揮官	發西側隊指揮官
無	無	無	無	無

八 大	(驅潜三十六 十根司令官)	八丈八束經百五十六度以西第三十六驅潜艇ハ 同線以東ノ海面ヲ掃蕩セヨ竹丸ハ泊地附近ノ 警戒ヲ嚴ニセヨ	電
十日 十島防備部 隊指揮官	十島防備部隊	機密十島防備部隊命令作第四號 十島防備部隊兵力部署(別紙第二)	書文
五日 北方部隊指揮官	十日 北方部隊	機密北方部隊命令作第三號 北方部隊作戰命令(略)	書文
五日 北方部隊指揮官	十日 北方部隊	機密北方部隊命令作第二號 北方部隊作戰指導要領(略)	書文
十日一〇四〇 大警參謀長	十一日一二四〇 師長 十根司令官	十日附第一驅逐隊ヲ十島方面根據地隊ニ編 入サレタルトコロ差當リ現任務(目下中知床方面 ニ對潜掃蕩並ニ護衛ニ從事中)續行ノ コトニ取計ハレ度	電

十日一五〇五 十根司令官	十日一六四九 十根部隊 一艇司令官	八月十日附第一艇逐隊ヲ當隊ニ編入第二 號新興丸ヲ當隊ヨリ除カル	電 無
十日〇七一 十根司令官	十日〇七六一 北東方面部隊 大警部隊 大警管区市 國總船舶	空襲警報 北千島海面	電 無
十日〇七三〇 十根司令官	十日〇八三六 北東方面部隊 大警部隊	〇七一〇敵B二四型三機以上未襲〇七二〇 撃退	電 無
十日〇八一〇 十根司令官	十二日〇八二〇 大警備区及同方 面帝國船舶 大警部隊 北東方面部隊	空襲警報解除 北千島海面	電 無

十二日。九三九	十一日一七。五	十根司令官
十二日。二〇五三	十一日二〇〇〇	師師各長官 軍令部總長 師大營各長官
大東亞戰爭中海上交通保護要領(第一改正)	敵ハ飛行場ヲ攻撃目標トセルガ如シ 若干被害アリ 直撃弾乃至近弾ニ依リ倒潰其、他陸軍方面 軍七十七、日魚三十九)片岡飛行場宿舍三棟 六日魚三十一、重傷者百五十四(内海軍二十八陸 被害人員戦死三十三内海軍十五(軍属)陸軍 敵下層雲切目ヲ片岡柏原村上方面ニ多数投彈 二〇之ヲ撃退セリ戦果不明 襲友軍戦斗機在泊艦船及陸上砲台ニテ〇七 〇七〇九敵B十七型及B三十四型計三機以上来 千防戦機概報第一號	無